

2022年4月13日

ClipLine 株式会社の株式譲渡について

株式会社 INCJ（本社：東京都港区、代表取締役社長：勝又 幹英、以下「INCJ」）は、同社が保有する ClipLine 株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：高橋 勇人、以下「ClipLine」）の株式の一部をインキュベイトファンド株式会社（本社：東京都港区、代表パートナー：赤浦 徹、本間 真彦、和田 圭祐、村田 祐介、ポール・マクナーニ）が運営する IF Growth Opportunity Fund I, L.P.に、残りの株式を ClipLine に譲渡することを決定し、このほど譲渡が完了したのでお知らせします。

ClipLine 株式会社について

設立 : 2013年7月
本社所在地 : 東京都品川区
代表者 : 代表取締役社長 高橋 勇人
事業内容 : 組織実行力を高める動画型マネジメントシステム「ClipLine（クリップライン）」の開発・運営、および経営コンサルティング事業
URL: : <https://corp.clipline.com/>

インキュベイトファンド株式会社について

設立 : 2010年5月
本社所在地 : 東京都港区
代表者 : 赤浦 徹、本間 真彦、和田 圭祐、村田 祐介、ポール・マクナーニ
事業内容 : ファンドの管理・運営
URL: : <https://incubatefund.com/>

株式会社 INCJ について

株式会社 INCJ は、2018年9月、既存の官民ファンドである株式会社産業革新機構から新設分割する形で発足しました。産業革新機構は、2009年7月、産業や組織の壁を越えて、オープンイノベーションにより次世代の国富を担う産業を育成・創出することを目的に設立されましたが、根拠法である産業競争力強化法の改正法の施行に伴い、同機構は株式会社産業革新投資機構に商号変更し、新たな活動を開始しました。株式会社 INCJ は、産業革新機構の事業を引き継ぐ形で、既投資先の Value up 活動や追加投資、マイルストーン投資、EXIT に向けた活動を主要業務として、2025年3月末まで投資活動を行っていきます。

URL : <http://www.incj.co.jp/>

【別紙】

1. 対象会社

- ・ 事業者名 : ClipLine 株式会社
- ・ 設立 : 2013 年 7 月
- ・ 所在地 : 東京都品川区
- ・ 代表者 : 代表取締役社長 高橋 勇人
- ・ 事業内容 : 組織実行力を高める動画型マネジメントシステム「ClipLine (クリップライン)」の開発・運営、および経営コンサルティング事業
- ・ URL : <https://corp.clipline.com/>

2. 支援決定内容

- ・ 支援決定公表日 : 2018 年 3 月 13 日 / 2020 年 9 月 4 日
- ・ 支援決定金額 : 4 億円 (上限) / 1 億円 (上限)
- ・ 実投資額 : 5 億円
- ・ プレスリリース : 映像音声クリップを利用した自律的学習システムを開発する ClipLine 株式会社への出資について
https://www.incj.co.jp/newsroom/PressRelease_INCJ_Clipline_20180313.pdf
動画とクラウドを用いて多店舗展開ビジネスの生産性を改善する ClipLine 株式会社への追加出資について
https://www.incj.co.jp/newsroom/PressRelease_INCJ_clipline_20200904.pdf

3. 経緯

(1) 出資の経緯

ClipLine は、2013 年に設立された SaaS (Software as a Service) 型のベンチャー企業で、映像音声クリップ (短尺動画) を利用した自律学習システムを開発し、クラウド・サービスとして外食産業を中心に様々な企業に提供している。同社は直感的な理解を促す動画撮影技術や短尺化の編集技術に加え、サービス産業を深く理解したコンサルティングにより、多店舗展開ビジネスの生産性向上に貢献している。サービス産業が GDP の約 7 割を占める我が国においては、生産効率の向上や、現場の労働環境及び労働条件の改善は長年の課題であり、INCJ は、ClipLine の事業がこのような課題の解決に寄与するものと判断し、2018 年 3 月に 4 億円を上限とする支援を公表した。

(2) 事業の進捗

INCJ の出資後も、ClipLine は、外食、小売、介護、生活サービスなど、様々な業界の大手企業、多店舗展開企業への導入を展開。労働生産性の向上をはじめ、企業組織に内在する様々な課題をワンストップで解決することが高い評価を得、導入店舗数、動画再生回数、学習者総数ともに順調に拡大している。INCJ は顧客候補先の紹介を始め、同社の事業成長を支援するため、2020 年 9 月に 1 億円の追加出資を実施している。

(3) Exitの経緯・内容

初回投資から4年が経過し、ClipLineの事業は堅調に推移している。INCJは、ClipLineの今後の更なる事業成長のために、保有するClipLineの株式の一部を同社のリード投資家であるインキュベイトファンドに、また残りの株式をClipLineに譲渡することが最適であると判断した。

4. 主務大臣（経済産業大臣）意見

意見なし。

<本発表資料のお問い合わせ先>

株式会社 産業革新投資機構 経営企画室 広報 入江、奥村、野々宮（報道関係）

東京都港区虎ノ門 1-3-1 東京虎ノ門グローバルスクエア

電話：03-5532-7086

URL：<https://www.j-ic.co.jp/jp/>

<https://www.incj.co.jp/>